

「2022JR総連春闘勝利!!総決起集会」を開催!



集会アピール

JR総連は本日、「2022 JR総連春闘勝利!」総決起集会を開催した。参加したすべての組合員が、春闘の仲間から、2022 JR総連春闘勝利に向けた決意表明を受け、「統一要求・統一闘争」としてJR総連春闘勝利の下、春闘勝利に向けてたたかい抜こうと決意を、すべての参加者とともに確認した。

第44 任意期中央委員会が決定した「ベア要求 6,000 円」「賃上げ完全実現」「組合労働条件の改善」という「統一要求」は、コロナ禍での労働環境を改善し、賃上げを求めた。21 春闘を勝利し、全組合員の誇りを燃やした要求である。各単組・労働の団結と闘争をさらに強化し、たたかい抜こう!

私たちを取り巻く情勢は厳しさを増している。長期化する新型コロナウイルスの影響は「雇用回復」という、企業業績の二極化を生み出した。経営陣は 22 春闘について、企業業績の良し悪しで分け、それに対応するように JR の経営陣は「ベアの前に定額給付金はどうかが重要だ」と、組合員の生活実態など一切考慮しない姿勢を打ち出している。

我々は、このような情勢を踏まえ、全組合員が団結して奮闘することを決意し、「そのために必要な統一要求、統一闘争、統一要求、統一闘争」を掲げ、全組合員が団結して奮闘する。全組合員の生活実態など一切考慮しない姿勢を打ち出している。一方、組合員の生活実態を踏まえ、賃上げを求めた。21 春闘を勝利し、全組合員の誇りを燃やした要求である。各単組・労働の団結と闘争をさらに強化し、たたかい抜こう!

また、改憲阻止にむけたたたかいを強めていくことは喫緊の課題である。私たちは改憲阻止のための陣形を確たるものにするために、参議院選挙を勝利しなければならぬ。

JR 総連、各単組・労連は、連携をはかり相乗効果を発揮し、組合員の負託に応えるたたかいを貫き、2022 JR 総連春闘勝利! 参議院選挙勝利! 平和・人権・民主主義のたたかいと結合し全組合員の参加でたたかおう!と述べました。

その後、小林政策・政治部長より問題提起をおこない、各単組・労連代表より力強い決意表明が述べられ、八幡書記長のまとめと集会アピールを確認し、2022 JR 総連春闘勝利に向けて団結を打ち出し、決起集会は終了しました。

2022年3月15日
全日本鉄道労働組合総連合会 (JR 総連)
「2022 JR 総連春闘勝利!」総決起集会

JR 総連は 2 月 22 日、目黒さつきビル会議室において、リモートシステムを併用して「2022 JR 総連春闘勝利!!総決起集会」を開催しました。山口委員長はあいさつで「組合員がおかれた現状は非常に厳しい。物価上昇だけを見ても、ベア満額獲得を主張する根拠は揃っている。経営環境の厳しさを理由に、定昇をおこなわないというのは、極めて経営側の責任である。JR 総連を軸として、加盟各単組の情報共有を図り、単組のたたかいに連帯していくことが、春闘勝利への道を切り拓く。JR 総連はそのたたかいを先頭でけん引する。」

また、改憲阻止にむけたたたかいを強めていくことは喫緊の課題である。私たちは改憲阻止のための陣形を確たるものにするために、参議院選挙を勝利しなければならぬ。

JR 総連、各単組・労連は、連携をはかり相乗効果を発揮し、組合員の負託に応えるたたかいを貫き、2022 JR 総連春闘勝利! 参議院選挙勝利! 平和・人権・民主主義のたたかいと結合し全組合員の参加でたたかおう!と述べました。

その後、小林政策・政治部長より問題提起をおこない、各単組・労連代表より力強い決意表明が述べられ、八幡書記長のまとめと集会アピールを確認し、2022 JR 総連春闘勝利に向けて団結を打ち出し、決起集会は終了しました。

「ロシアのウクライナ軍事侵攻に対する声明」を發出!

ロシアのウクライナ軍事侵攻に対する声明

ロシア軍が2月24日、国際社会の警告を無視してウクライナへの軍事侵攻を開始した。報道によればロシアによる侵攻によって民間・軍事インフラが攻撃され全国25市町が空爆され50名の尊い命が奪われた。いかなる理由があろうと武力による支配を許さず、JR総連は満腔の怒りをもって糾弾する。

ロシアのプーチン大統領は、「独立を承認したウクライナ東部『ドネツク人民共和国』と『ルガンスク人民共和国』の代表から軍事支援を要請された」「ウクライナの占領は考えていない」と述べているが、目的はウクライナをロシアに従属させるための「占領」である。

そもそもウクライナの東部地域をロシアが一方向的に「独立を承認する」ことと、ウクライナを独立国・主権国家として認めないことは、国連憲章が各国の主権と領土保全の尊重を定めた「国際法違反」である。ロシアは直ちに軍事侵攻を中止し、部隊を撤収させるべきである。

プーチン大統領は、テレビ演説で、NATOの拡大はロシアの脅威となり、容認できないと主張している。1991年ソ連崩壊以降、続々とかつての「同盟国」がNATOに加入し、その一方で「ロシア繁栄と豊かで強く文明化させた国」をめざしてきたプーチン大統領からすればウクライナは西欧からの「最後の拠点」であり、NATO加盟申請への危機感が軍事侵攻という暴挙につながった。

自国の利益のために、周辺国を資本主義諸国の同盟からの防波堤とする戦略は、かつての「旧ソ連」に逆戻りするものである。

このロシアの蛮行を許せば、国際社会の影響は計り知れない。中国の台湾統一の野望を正当化するための軍事侵攻の危険性も取り沙汰されているが許してはならない。

さらにロシアが核兵器大国であることを誇示し、欧米の批判や制裁の動きに対抗していることは、世界各国の平和と安定を根こそぎ破壊する蛮行そのものである。

JR総連はこの軍事行動を厳しく非難するとともに、即時軍事侵攻の中止・撤退を強く求める。同時に組合員とその家族を戦争の犠牲には絶対させない。子どもたちの未来に責任を持ち、平和・人権・民主主義を守るためにJR総連は加盟単組・9条連とともに闘い抜いていく。

2022年2月25日
全日本鉄道労働組合総連合会(JR総連)



「ロシアはウクライナの侵攻をやめろ!原発を攻撃するな! さようなら原発緊急行動」に参加!



3月5日、さようなら原発1000万人アクション主催の「ロシアはウクライナの侵攻をやめろ!原発を攻撃するな! さようなら原発緊急行動」が東京で開催されました。

緊急行動には、JR総連と各単組から60名が結集し、9条連の仲間と共に参加してきました。

代々木公園でおこなわれた前段集会では、主催者を代表してジャーナリストの鎌田慧氏より「私たちが声をあげること、ロシアの侵略をやめさせよう」と訴えました。

その後、結集した600人の参加者でデモ行進をおこない、沿道の市民へ「ロシアのウクライナ侵略反対!原発攻撃反対!」の声を上げてきました。

JR総連は、今後も9条連の仲間と共に、戦争と原発のない平和な社会をめざして、様々な行動に参加し、大きなうねりをつくり出していきます!

JR総連・JR東労組・JR西労 「働き方改革」に関する意見交換・国会議事堂見学を開催!



衆議院本会議場



衆議院議員・末松義規事務所での
意見交換の様子



JR総連は2月15日、JR東労組とJR西労の仲間とともに、JR総連推薦議員懇談会に所属する国会議員事務所を訪問し、今後JRにおいても「新たな働き方」の導入を検討されている実情等について、意見交換をおこないました。

JR東日本では、「変革2027」の現に向けた組織の再編と「柔軟な働き方」や「多様な活躍の実現」に向けた制度改正等が進んでいます。具体的には、今後は鉄道だけではなく3事業(輸送サービス、生活サービス、IT・Suicaサービス)の相乗効果によって収益力を強化していくことがめざされており、それらに伴ってJR東日本発足以来、最大の変革として、私たちの働き方も大きく変わろうとしています。

JR西日本では、「本社及び地方機関の見直し」と称して、支社機能を統合し、今後は統括本部に集約する「組織体制の見直し」や3月12日ダイヤ改正では、大幅な減便による約450名を超える要員削減や、地域住民からも減便に対する抗議の声が上がるなど、現場では社員の不安が解消されず、安全で安心して働ける職場環境の構築が課題となっています。

JR総連は、こうした2社に共通する「新たな働き方」などの施策は、2社に留まらず、今後はJRグループ全体に関わってくる課題であると受けとめています。

その意味でも、JR総連推薦議員懇談会に所属する国会議員との連携は必要不可欠であり、認識の一致をはかることを目的に今回の行動は実現しました。また、意見交換後には国会議事堂見学もおこない、参加者からは有意義な一日となったとの感想が述べられました。

JR総連は2月15日、JR東労組とJR西労の仲間とともに、JR総連推薦議員懇談会に所属する国会議員事務所を訪問し、今後JRにおいても「新たな働き方」の導入を検討されている実情等について、意見交換をおこないました。

JR東日本では、「変革2027」の現に向けた組織の再編と「柔軟な働き方」や「多様な活躍の実現」に向けた制度改正等が進んでいます。具体的には、今後は鉄道だけではなく3事業(輸送サービス、生活サービス、IT・Suicaサービス)の相乗効果によって収益力を強化していくことがめざされており、それらに伴ってJR東日本発足以来、最大の変革として、私たちの働き方も大きく変わろうとしています。

JR西日本では、「本社及び地方機関の見直し」と称して、支社機能を統合し、今後は統括本部に集約する「組織体制の見直し」や3月12日ダイヤ改正では、大幅な減便による約450名を超える要員削減や、地域住民からも減便に対する抗議の声が上がるなど、現場では社員の不安が解消されず、安全で安心して働ける職場環境の構築が課題となっています。

JR総連は、こうした2社に共通する「新たな働き方」などの施策は、2社に留まらず、今後はJRグループ全体に関わってくる課題であると受けとめています。

その意味でも、JR総連推薦議員懇談会に所属する国会議員との連携は必要不可欠であり、認識の一致をはかることを目的に今回の行動は実現しました。また、意見交換後には国会議事堂見学もおこない、参加者からは有意義な一日となったとの感想が述べられました。



はたらくあなたの、いちばんそばに。

「たすけあいの輪をむすぶ」
こくみん共済 coop は、次のステージへ

「こくみん共済 coop」は福利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

あなたと家族に安心届けます。保険はおまかせください。

各種のお問い合わせは、パソコン・スマホ、から可能ですので、ご利用をお待ちしております。

《取扱商品》

- ▲ 自動車保険・火災保険
- ▲ サークル保険
- ▲ がん保険・医療保険・介護保険
- ▲ 給与サポート保険
- ▲ JR積立年金
- ▲ すみっこ商店・伊東さつき会館

JR総連・各単組賛助団体
(株)鉄道ファミリー 検索

〒141-0031
東京都品川区西五反田3-2-13 目黒さつきビル
TEL 03-3490-3862 FAX 03-3491-7198

連合「2022春季生活闘争 政策・制度要求実現3.7中央集会」



連合は3月7日、「2022春季生活闘争政策・制度要求実現3.7中央集会」を、新型コロナウイルス感染防止のためWebで開催しました。今集会には、全国で3,856名が参加し、JR総連・各単組からも参加しました。

芳野友子中央闘争委員長はあいさつで、「2022春季生活闘争の要求集計では、定算維持を含む月例賃金改善を要求した組合数は昨年を超えており、平均賃金方式における賃上げ額および率についても昨年を上回っている。2014春季生活闘争以降、継続してきた賃上げの流れを絶対的にここで止めてはならない。春季生活闘争と運動の両輪をなす政策・制度実現の取り組みも非常に重要。取り組みを強力に推進していかなければならない。私たち働く者の活力、そして「人への投資」がなければ、日本の危機を乗り越えることはできない。みんなで団結して2022春季生活闘争に立ち向かっていこう」と述べました。

その後、「金属共闘連絡会議」「化学・食品・製造等共闘連絡会議」「流通・サービス・金融共闘連絡会議」「インフラ・公益共闘連絡会議」「交通・運輸共闘連絡会議」の5つの部門別共闘連絡会議の代表者からの決意表明、連合政策委員会の難波委員長（運輸労連中央執行委員長）の決意表明がおこなわれ、集会アピール宣言を採択し、最後に清水秀行中央闘争事務局長の団結ガンバローで、集会を締めくくりました。

連合「2022春季生活闘争 3.8国際女性デー 全国統一行動 中央集会」

3月8日、連合「2022春季生活闘争3.8国際女性デー全国統一行動 中央集会」が、新型コロナウイルス感染防止のためWebで開催となり、JR総連も参加してきました。

集会では、コロナ禍で浮き彫りになった男女間の様々な格差の固定化への懸念に対して、今こそ性別だけでなく、年齢・国籍・障がいの有無、就労形態などにかかわらず、多様性を認め、誰もが等しく力を発揮できる環境が整備され、すべての人が互いに支え合える社会の実現が不可欠である。社会の隅々までジェンダー平等を浸透させていくためには、労働組合の取り組みにジェンダーの視点を取り入れる「ジェンダー主流化」を、職場での取り組みを通じて具現化していかなければならないと訴えました。

◆3.8国際女性デーとは？

1857年にニューヨークの被服工場の火災で多くの女性たちが亡くなったことを受け、3月8日に女性たちが低賃金・長時間労働に抗議をおこなったことが「3.8国際女性デー」の起源であると言われています。

その後、1908年3月8日には、女性労働者たちが賃金改善と労働時間短縮、そして婦人参政権を求めて「パンとバラ」を掲げ、デモをおこないました。以来、この日は、女性の政治的自由と平等のために行動する記念日と位置づけられ、賃金・労働条件の向上を表す「パン」と、女性の尊厳・人権の確保を表す「バラ」をシンボルに、世界各国で様々な行動が展開されています。

連合としては、1996年から春季生活闘争の中に国際女性デーの行動を位置づけ、全国で統一行動を実施しています。

International Women's Day
世界の女性と共に!

3月8日 国際女性デー